



このはちゃん

防災と地域福祉を学ぶ



このみん
(此花ミンジー)

「稲村の火の館」を見学

令和7年10月22日 三部会合同研修として和歌山県広川町にある「稲村の火の館」を見学しました。

当時、朝の連続テレビ小説『ばけげ』が放送されていましたが、移動中のバスの車内で浦野前会長より、「稲むらの火」の原作がラフカディオ・ハーン（小泉八雲）によるものであることについてお話しいただき、その博識ぶりに委員の皆さんも感心されていました。館内は、日本家屋と近代建築が調和した趣のある造りとなっており、広川町の歴史や津波防災について学ぶことができました。

今回の研修を通じて、災害時の備えや地域で支え合うことの大切さについて、改めて考える貴重な機会となりました。



全体研修会「災害現場で起きていたこと」を受講して

令和8年3月13日 全体研修会を開催しました。今回の研修会では、能登半島地震発生後に現地では支援活動に携わられた区役所地域サポート課の東さんを講師にお迎えし、大規模災害時の状況や支援活動についてお話しいただきました。研修では、刻一刻と変化する災害現場の状況の中で、どのように行動し、地域と関わっていくことが大切かについて、実際の経験を交えながらご説明いただきました。



受講者からは、災害時のトイレや生活環境の問題についてのお話が特に印象に残ったとの感想が寄せられました。普段は当たり前利用している上下水道や生活環境が、災害時には十分に整わない現実を知り、改めて備えの大切さを実感したとのことでした。また、災害を「他人事」ではなく「自分事」として考えるきっかけとなり、日頃から地域や家族のために何ができるのかを考える大切さを感じたという声もありました。